

第72回手術手技研究会主催報告

徳島大学 消化器・移植外科 島田光生

2018年5月11日(金)12日(土)に徳島・ルネッサンスリゾートナルトにて「第72回手術手技研究会」を無事に開催することができました。参加いただきました先生方にこの場をおかりして厚く御礼申し上げます。

今回のメインテーマは“手術手技のSerendipity”とさせていただきます、主題は「技術伝承(教育)のSerendipity」と「手術ナビゲーションのSerendipity」といたしました。

現在の外科を取り巻く厳しい環境の中で医療安全を担保しながら、いかに若手に匠の技や外科の魅力を伝えていくか、また最新のナビゲーションを用いた手術をご講演賜りました。



過去最高の演題数(一般演題210題、指定演題24題)をご登録いただき、480名の参加者を迎え、優れた演題発表ならびにご活発なご討議が行われました。



奨励研究賞、指定研究賞の発表および授与式では沖英次先生、山下洋市先生、宮澤光男先生にご発表いただきました。

ビデオ賞では植村守先生、小西博貴先生、青景圭樹先生、佐々木健吾先生に素晴らしいビデオ講演をご発表いただきました。



懇親会では名誉会長の塩崎均先生、会長の宇田川晴司先生に御挨拶をいただき、レジェンドの先生方に鏡開きを執り行っていただきました。大塚美術館のシスティーナホールに300名の先生方にご参加いただき、フルートコンサート、有名な絵画をお楽しみいただきました。また新たな企画として、若手医師をエンカレッジする目的で若手Awardとして20名の先生を表彰させていただきました。

中締めは、第73回当番世話人の若林剛先生よりお言葉を頂戴いたしました。



宇田川晴司会長



フルートコンサート



若手Awardを受賞された先生方



レジェンドによる鏡開き

伝統ある手術手技研究会の第72回当番世話人を務めさせていただき、私のみならず教室や徳島大学外科同門にとりましても大変な栄誉でありました。今回は、480名の参加者を数え、過去最大級の盛会をもって終えることができました。本研究会の準備ならびに運営にあたりましては、医局のみの運営であり、不行き届きの点多々あったことと存じますが、手作りの醍醐味とご寛恕賜れば幸甚に存じます。



ご指導いただきました宇田川晴司会長ならびにご尽力いただきました先生方のお力の賜物と感謝しております。心より厚く御礼申し上げます。第72回手術手技研究会主催報告とさせていただきます。

徳島大学 消化器・移植外科 島田光生